

## 優良賞

### 有り難う

赖 云  
L A I Y U N

荷物一つを持ち日本に来てもう半年になります。半年前母国を離れる私は、日本とはどんな国なのだろうと不安な気持ちでいっぱいでした。

日本の先進の技術を勉強するため、母国で3ヶ月間、富山県で一ヶ月間日本語を習いました。さらに日本の風俗、習慣などについても知りました。沢山の事について勉強をし、知識として身についたにもかかわらず、会社へはじめて出向いた日は、私の不安な気持はもっと大きなものになっていました。しかし、現実私の想像していた事とは全く違って、会社の人達はとても良い雰囲気の中にむかえいれてくれ、まるで身内のような温かさを感じました。

私のはいった会社は菓子工場です。会社のスローガンは、「幸せを運ぶ真心の味」です。お客様に安全、安心な食品を食べてもらうため厳格な規則、ルールを守り、皆、毎日働いています。日本人の真面目さ、丁寧さ、責任感の強さを感じました。そんな中で私も会社の一員となりいつのまにか季節は秋になりました。来日当初の不安な気持ちもいつしかなくなり、私も季節と同じく沢山の貴重な物を得ました。そのひとつが「誠心、誠意」という言葉です。失敗した時、同じ職場の坂口さんは分かりやすい言葉で仕事について説明してくれ、中西さんは、「頼さん、大丈夫よ。どんな事も最初からはできんよ。で

も二、三日もやればできるようになるよ。そして「仕事中はいつでも油断してはいけません。」と言ってくれます。日本のお母さん達、山野さん、清水さんは出退勤時は「気をつけまっし。」と言ってくれ、部長はあつたまるようにと湯たんぽと美味しいお寿司を差し入れてくれ、社長は、「寒くなったらエアコンをつけて下さい。」と気遣ってくれます。会社の新年会に参加してちょっとしたハプニングにとまどってしまった時、会場から「研修生ガンバレ」と励ましてくれた人達。「ガンバレ」の一言に私はとても感動し、「もっともっと働きたい。」「お手本のような研修生になりたい。」という気持ちになりました。温かい気持ちでむかえてくれた職場の人達、辛抱強く仕事を教えてくれる人達、気遣ってくれる人達、このような人達とすごした半年間、そのすべてにとっても感謝しています。

私はどんな小さな事でも感謝の気持ちを持っていれば全て良い結果につながり大きな喜びがあると信じています。そして前田製菓で教えてもらった「誠心、誠意」の言葉とあの日の感動と共に此れからも精一杯頑張っていきたいと思っています。

日本中国両国の美しい未来と、友好関係が継続することを今後も望みながら。最後に、真心の感謝を込めて…

日本。ありがとう。

日本人。ありがとう。本当に…

区 分	研修生
国 籍	中国
職 種	菓子製造
受入れ企業	前田製菓株式会社
受入れ団体	富山国際事業協同組合